

令和2年度 推薦入学試験問題

情報学群  
知識情報・図書館学類

## 小論文

試験時間 10:00 ～ 11:30

### 注意事項

- ・ 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけません。
- ・ 受験番号、氏名を解答用紙の所定の欄に記入してください。
- ・ この問題冊子は全部で4ページ（表紙を除く）です。
- ・ 解答は、解答用紙の所定の欄に記入してください。
- ・ 試験中に問題の脱落、解答用紙の汚れ等に気づいた場合には、手を上げて監督員に知らせてください。
- ・ 試験終了後、問題冊子・下書き用紙は各自持ち帰ってください。

問題1 以下の文章を読んで、問1～5に答えなさい。

（文章本文が非常に小さく、読み取れないため、ここに本文の文字列は省略する）

出典 成毛眞著『面白い本』岩波書店 2013（抜粋のうえ、一部変更）

問1 この文章には、著者自身の過去の経験において、「面白い本」と思った本の題名や種類（ジャンル）が3つ挙げられている。そのうち、種類（ジャンル）の2つをすべて答えなさい。

問2 本文中において、最後の段落と同じような趣旨のことを述べている段落がもう1つある。その最初の4文字と最後の4文字を答えなさい。

問3 下線部（ア）「意味もなくひたすら読んでいくこと」と同じような意味を持つ二字熟語を、本文中から抜き出しなさい。

問4 下線部（イ）の「私の読書の理想」について、著者がこれと対立させている読書のあり方を表現している個所を、本文中から30字以上35字以内で抜き出しなさい。

問5 「読書の理想」についての著者の主張を簡潔に説明し、それに対する賛成あるいは反対の立場を明確にした上で、自分の考えを500字以内で書きなさい。その際、理由も述べること。

なお、これらの設問は、理解力・思考力・表現力・独創性などの能力を総合的に見ようとするものであり、思想・信条等を問うものではありません。

問題2 以下の文章を読んで、問1～4に答えなさい。

（注）

\*1 encoded: 符号化された

\*2 manipulates: 操作する

- \*3 cradle: ゆりかご
- \*4 redundancy: 冗長性
- \*5 garbled: 歪められている
- \*6 decipher: 解読する
- \*7 comprehend: 理解する
- \*8 scrambled: ごちゃまぜにされる
- \*9 staticky: 雑音の混じった

出典 Charles Seife. Decoding the Universe. Viking, 2006. (抜粋のうえ、一部変更)

問1 下線部(a)を日本語に訳しなさい。

問2 著者は冗長性がよいものであると考えているが、冗長性がよいという理由を本文中の説明に沿って130字以内で述べなさい。

問3 コンピュータなどの情報機器が使われる際にも冗長性が有益となる状況について具体例を用いて270字以内で述べなさい。具体例は複数挙げてよい。

問4 この文章では冗長性の例や役割を説明しているが、それらを踏まえて、冗長性の定義を80字以内で書きなさい。

なお、これらの設問は、理解力・思考力・表現力・独創性などの能力を総合的に見ようとするものであり、思想・信条等を問うものではありません。